

看護部長通信 10月号

朝晩冷え込む季節となり秋を感じるようになりました。みなさん、お変わりありませんか。

9月から始まった在宅看護実習は、近隣の看護学校から学生さんが2~3人実習に来られています。10月12日に終了します。学生指導担当者は、看護総師長にお願いしました。師長は、教員時代に戻ったように活気溢れる指導をしています。実習期間である1週間のスケジュールはとてもよく吟味されており、在宅での生活としての支援状況を看護師としてどうかかわっていくべきなのかをあらゆる角度から学ぶことができるように計画されています。当院の多職種にも指導を依頼しましたが、どの部署の責任者もこころよく引き受けてもらい本当にありがたく思っています。現在のところ、在宅看護学だけしか実習を受けていませんが、来年度からは統合、老年学実習を受けたいと考えています。看護師として学生を指導することで、自身の看護を振り返る良い機会となります。また、学生を指導することで勉強をする習慣も蘇ってきます。当院の看護師は勤勉で人に指導することで自身の成長につなげていける人材が多いので、この利点をうまく活用していきたいと思っています。私が看護学生の頃は、実習指導に教員が同行することがなかったので、学生同士のグループ間でお互いに協力し合って実習を乗り越えていました。実習期間も6か月以上でハードだったことを記憶しています。看護学校時代のことを聞かれると即答するのは実習の大変さで、今でも時々ふと思い出すことがあり、私の中では苦い思い出となっています。

今月は医療監査もありました。私は、当院へ就職して初めてということもあり、とても緊張した1日でした。午後1時30分から始まり、午後3時40分に終了しました。この日の為に機能評価に準じて標準レベルに到達するよう外来・病棟ともに書類整備に始まり、整理整頓など多くのことに取り組むことになりました。各主任には情報伝達、接遇面についての徹底を依頼しました。

当日は、書面審査がありましたので、看護総師長には昨年に引き続き感染管理認定看護師と一緒に感染について担当してもらいました。私は、看護全般の質問を受けました。6か月ではありますが、看護部の課題を明確にしたいと考えていますので、現状分析と今後どう取り組んでいくかということの説明しました。あっという間に1時間強の時間が経過しました。その後、病棟を訪問し、看護記録について主任に質問されました。記録については手書きではありますが、きちんと計画に沿った評価もされていました。さらにリネン庫、汚物処理室、医療廃棄物の確認をされました。2時間近くの時間があっという間に過ぎました。総評では、問題点などはありませんでした。感染については、認定看護師を採用しているので病院としての感染への取り組みを高く評価していただき、今後の活躍に期待していますという発言もありました。職員の皆様と一丸となって受審したので、終わってホッとしています。

医療監査の翌週には、中学校の職場体験と看護学校在宅看護実習がありました。中学校職場体験は、薬剤科長に業務内容の紹介をしてもらい若いエネルギーを活力に代えさせていただく時間になりました。当院をご利用中の高齢者の方にもお話しいただく時間をとってもらいましたがすぐに打ち解け、人生におけるコミュニケーション能力の豊かさを垣間見る時間になりました。院内の多職種の皆さんをはじめ、ご協力いただきました方へ感謝申し上げます。

食欲の秋を迎えています。皆様は何の食べ物を想像しますか。私は、今も昔も高級食品として名高い梨とぶどうが一番好きです。我が家の子供たちが小さい頃、この季節には徳佐にある梨園によく足を運んだことを懐かしく思い出します。若かったあの頃の思い出に浸っている今日この頃です。

平成30年10月1日

看護部長 伊藤節美